

インフラ整備70年 講演会（第52回）

～戦後の代表的な100プロジェクト～

首都東京を水害から守る 神田川・環状七号線地下調節池

～半世紀にわたる神田川洪水被害との戦い～

<講演プログラム>

1. 完成までの経緯
2. 第二期シールド工事の施工
3. 事業効果と今後の取組み

<講演者>

- | | |
|-------|----------------|
| 小林 一浩 | 元東京都建設局河川部長 |
| 河本 武士 | 大成建設株式会社 |
| 小木曾正隆 | 東京都建設局河川防災担当部長 |

写真提供：東京都建設局河川部

2024年 7月30日（火）

講演会：16:00～18:00 意見交換会：18:00～19:00

場所：政策大学院大学想海樓ホール（会場・WEBのハイブリット形式）

定員：会場 200名 WEB 1000名

東京都内の中小河川における洪水対策は、昭和33年の狩野川台風による未曾有の洪水被害を契機に本格的に始動したが、戦後の復興と高度経済成長による市街化が河川整備を遥かに上回るスピードで進んだため、短時間に多量の雨水が河川に流入するようになった。その結果、昭和50年代には毎年のように水害が発生し、その度に新聞・テレビ等の報道に大きく取り上げられる社会問題となっていた。

本講演では、水害が頻発していた代表河川である神田川において、河川整備を進める上での課題や被災住民による水害訴訟、抜本的な治水能力向上のアイデアとして幹線道路下に貯留量54万m³のトンネル式地下調節池を整備するに至った経緯、完成までの紆余曲折を紹介するとともに、調節池工事の施工や調節池整備後の事業効果、今後の取組みについて講演する。

（本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております）

主催：（一社）建設コンサルタンツ協会

後援：（公社）土木学会

インフラ整備70年講演会(第52回)
首都東京を水害から守る神田川・環状七号線地下調節池
～半世紀にわたる神田川洪水被害との戦い～

《講演者略歴》

小林 一浩	元東京都建設局河川部長
河本 武士	大成建設株式会社
小木曾正隆	東京都建設局河川防災担当部長

講演会 申し込み方法（変更がありますのでご注意ください）

- 会場（講演会2000円・意見交換会2000円）、WEB（講演会無料）どなたでも申し込みできます。
- お申し込みは協会HP（<https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/>）よりお願いします。

【注意事項】

- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点で締め切りとなります。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 申込時の個人情報インフラ整備70年講演会に関する事項のみに使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等のご遠慮頂きますようお願いいたします。

<会場参加について>

- 申込完了者は、**7/23(水)までに**下記口座へ会費振込をお願いします。なお、領収書は講演会当日にお渡しさせていただきます（振込が期日より遅れますと後日郵送となります）。

三井住友銀行 飯田橋支店(888) 普通口座 7379944

イッパ ンシャダ ンホウジ ンケンセツコンサルタンツキョウカイコウシュウカイヨウグ チ カイショウ ナカムテツ

（複数名分の振込を行う場合、対象者名の一覧を下記の問い合わせ先メールにご連絡をお願いします）

<WEB配信について>

- 申込完了者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の前日までに送付させていただきます。
- 受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください（複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います）

問合せ先 E-mail: infra70@jcca.or.jp

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、（一社）建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、（一社）建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演概要資料及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の概要資料は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定> 第53回講演会 2024年9月26日(木) 講演会 14:30～16:30

テーマ： 名古屋港高潮防波堤と中部国際空港 ～中部地方の発展を牽引する海と空のゲートウェイ～

講演者： 山田 孝嗣 元名古屋港管理組合専任副管理者

八鍬 隆 元中部地方整備局長

春日井康夫 元中部地方整備局港湾空港部長

浅野 一光 元名古屋港管理組合建設部長

上用 敏弘 元中部国際空港(株)執行役員

* 会場参加とライブ配信のハイブリットにて行う予定です